

2. 事業の概要と成果	
(1) プロジェクト目標の達成度 (今期事業達成目標)	1館のモデル図書館が大規模小学校に建設された。また、管轄省庁や公共図書館員、教員養成校の教員計10人が、対象地における子どものための図書館サービスの認知と促進を担うマスタートレーナーとして選出され、子どものための図書館サービスへの理解を深めた。 1館のモデル図書館が学校に建設され、管轄省庁や教員養成校の教員が図書施設を通じた教育サービスの普及に向けた研修を受けている。
(2) 事業内容	(1) 学校図書室の普及のための基盤強化 <u>1-1. 学校図書室の運営システムの構築</u> 1-1-1. 教育省、関係機関との調整 1-1-2. ガイドライン作成を目的とした研修会の実施 1-1-3. ガイドライン・マニュアルの最終化 教育省、対象県教育局、教員養成校より計6人のマスタートレーナーを選出した。また、当会職員にてガイドライン・マニュアルの草稿を作成し、マスタートレーナーとの草稿の確認会議をカブールにて11月3日に実施した。本会議にて出された修正案を基に草稿の構成や目次を変更した。2年次にマスタートレーナーと共にガイドライン・マニュアルの最終化を行う。 <u>1-2. モデル図書室の建設</u> 1-2-1. カブール州教員養成校（TTC）附属小学校にモデル図書館1棟の建設 1-2-2. 家具、本の供与 1-2-3. 施設維持管理研修 1-2-4. 教育省との協議、設計図の改訂 カブールの大規模女学校（ワダット小、中、高等学校）にモデル図書館1棟を建設した。建設は6月に着工し、2021年1月に竣工した。竣工後、家具と図書の供与を行った。冬季休暇明けの2021年4月より本校児童5,726人と教員170人による図書館の利用を予定している。また、1-2-3の研修と設計図の改訂は2年次に行う。 <u>1-3. 教育省（MoE）、教育局（DoE）の知識、技能の向上</u> 1-3-1. 教育省・州教育局、学校教員を対象に訪日研修の実施 1-3-2. トレーナー研修の計画立案 1-3-1の訪日研修に関しては、渡航制限により年内の渡航目途が立たないため、2年次に移行した。しかし、本事業の研修活動を進めていく上で、早期にマスタートレーナーの知識と技能の向上を行う必要がある。そのため、訪日研修の一部内容について、マスタートレーナー計6人を対象に、2021年1月23日～25日にアフガニスタン国内において研修会を実施した。具体的には、今期に建設したモデル学校図書館と当会が過去に支援した学校図書室の視察を行い、オンラインでの専門家による図書館運営と活動に関する講義を実施した。また、トレーナー研修の計画やガイドライン・マニュアルの最終化についての意見交換を行った。本研修にて、参加者は読書推進の重要性や学校図書館の役割、図書館の基本的要素、図書館活動の内容についての知識と理解を深めた。また、本事業のマスタートレーナーとしての役割を再認識する機会となった。これらは、参加者への事前事後の質問票を通して確認された。

1-4. ネットワーク構築

1-4-1. 学校図書室にかかる関係機関（NGO、教育省）との協議

1-4-2. キャンペーン実施に向けた計画策定

1-4-1 に関して、図書館活動に関するワーキンググループを設置した。しかし、国内の感染拡大の影響により会議の実施には至っていない。2 年次以降に会議を実施し、ネットワークを強化していく。

一方で 1-4-2 に関しては、感染拡大状況下でも実施可能な図書館活動啓発キャンペーン活動案を 2 種類策定し 9 月より実施した。一つは国内全土に放送される教育省のラジオ番組と、東部地域に放送される民間のラジオ番組でのおはなし読み聞かせを週 6 日～7 日放送した。もう一つは、対象 3 県の学校計 15 校での移動図書館活動を通した図書の貸出サービス、読み聞かせ、手洗い等の感染予防啓発を行い、延べ 3,134 人の児童が参加した。

2) 情報文化省管轄の子ども図書館整備

2-1. 子どものための図書館の設立

2-1-1. 情報文化省との調整

2-1-2. 建設する図書館設計図の作成と建設許可の取得

カブール州情報文化局と、建設する図書館の設計図作成の調整を行った。2 年次に設計図を最終化する予定。

2-2. 図書館員の育成

2-2-1. 図書館員育成マニュアルの文書化

2-2-2. 研修内容の精査と計画化

情報文化省・局、公共図書館より計 4 人のマスタートレーナーを選出した。マスタートレーナーとの図書館員育成マニュアルの草稿の確認会議をカブールにて 11 月 11 日に実施した。2 年次にマスタートレーナーと共にマニュアルの最終化を行い、研修計画を作成する。

2-3. 関連省庁の能力強化

2-3-1. 情報文化省・局、図書館員を対象に訪日研修の実施

2-3-2. トレーナー研修の計画化

訪日研修については、活動 1-2 同様、渡航制限により渡航目途が立たないため、2 年次に移行した。しかし、活動 1-2 との同内容及び同実施にて、マスタートレーナー 4 名への研修を国内にて実施した（詳細報告は活動 1-2 を参照）。

2-4. 関係者間（管轄省庁、他 NGO、学校など）の連携強化

2-4-1. ネットワークの構築

国内の感染拡大の影響により、ワーキンググループの設置と会議の実施を 2 年次に行う。

(3) 達成された成果	成果 1. 学校図書室普及のための基盤が強化されている。 指標 1 - 1 : 配布された学校で、マニュアルやガイドラインが有効活用されている。 実績 : マニュアル・ガイドラインが未完成であり未達成 指標 1 - 2 : TTC 学校が、図書館普及のモデル校として、機能している。 モデル図書館の利用者数と貸出図書数 実績 : 1 年目の指標設定なし 指標 1 - 3 : 2 年次 3 年次のコンサルテーション会議にて、学校図書室に対する改善点が提案されている。 実績 : 1 年目の指標設定なし 成果 2. 情報文化省管轄の子ども図書館が整備されている。 指標 2 - 1 : 学校にいけない子どもたちが、アクセスできる教育の機会がある。 月あたりの延べ利用者数 実績 : 1 年目の指標設定なし 指標 2 - 2. 情報文化省・局が組織的、財政的に子ども図書館を運営できている。 図書館運営に関して研修を受けた人員が配置されている。 図書館運営に関する政府財源が確保されている。 1 年次 : 30% 実績 : 1 年次 : 10% 情報文化省・局、公共図書館より計 4 名が子ども図書館の整備を担うマスタートレーナーとして選出され、図書館運営に関する一部研修を受けた。子ども図書館の運営に関わる人員の本格的な育成は 2 年次以降を予定している。また、図書館運営に関する政府財源の確保に向けた本格的な調整も 2 年次以降を予定している。
(4) 持続発展性	建設したモデル学校図書館と供与した家具や図書等はカブール市教育局に譲渡し、登録されている。これらの管理の責任は当局が負うものの、実質的な維持管理は学校教員と地域住民が担う。2 年次に教員・地域住民に対して施設維持管理研修を実施し、建物の損傷を最小限にとどめ長期にわたり利用できるよう、注意事項を説明する。また、2 年次以降の図書館研修やキャンペーン活動を通して、本校のみならず近隣校の児童や教員の利用も促し、本校の図書館がモデル図書館としての役割を担い機能するよう働きかけていく。